

市川市立図書館のメールマガジンをお送りいたします。

「メールでのサービス」で配信をご希望された方へお送りしています。

□ ■ □ -----
■ □ ■ 市川市立図書館メールマガジン 第 93 号 2016.1.25
□ ■ □ -----

暖冬一変、先週は月曜日から雪に見舞われ、一気に気温が下がりましたが、皆様風邪などひかれていないでしょうか？

折しも今月 13 日には、千葉県によりインフルエンザの県内流行シーズン入りが発表されました。定点あたりの患者報告数が 1.00 を超えると全国的な流行開始とされていますが、千葉県は「2.49」、市川市は「2.11」となり、先月と比べて 2 倍以上の患者数となっています。

マスクの着用や、こまめな手洗い・うがいで感染予防を心掛けましょう。

■ ■ 図書館からのお知らせ □ -----

◆行徳図書館リサイクルブック市のご案内

○図書館で不要になった図書・雑誌などを市民の皆様は無償で提供いたします。

◇行徳図書館

<日時> 1月30日(土) 10時～14時(入場入替制)

<場所> 行徳図書館 1階

<冊数> お一人様 5冊まで

○入場には入場整理券が必要になります。当日 9 時 30 分より行徳図書館 2 階エレベーター前で入場整理券をお配りします。

※昨年度より整理券配布時間・開始時間が早くなりますので、ご注意ください。

「行徳図書館リサイクルブック市」のご案内はこちら

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/info/1085-16.html>

■ ■ 東海道五十三次は全部で何枚？ □ -----

◆中央図書館館内展示「東海道五十三次」

中央図書館では、ガラスショーケースとパネル展示コーナーで、広重の浮世絵「東海道五十三駅続画」(保永堂版)を一枚一枚展示しています。これは、1974年に読売新聞社が創刊100年に際して復刻したものです。

広重の東海道五十三次は、昭和初期からマッチ箱のラベル（燐票）に使われており、永谷園の「お茶づけ海苔」等の商品におまけのカードとして封入されていたこともあったので、馴染み深いという方も多いのではないのでしょうか。

ところで、描かれた絵は何枚あるかご存知ですか。五十三次とは、江戸から京都までの宿場町の数であり、起点である江戸日本橋と終点の京都三条大橋も描かれていますから、あわせて 55 枚となります。

広重は、晩年に「名所江戸百景」と題して、江戸の風光明媚な近郊まで含めた浮世絵を描いておりますが、こちらも題名どおりの 100 枚ではなく 118 枚の図絵があり、市川の場面も 2 枚あります。図書館の蔵書で、ぜひご確認ください。

◇『三代豊国・初代広重双筆五十三次』町田市立国際版画美術館／監修 渡邊晃／解説（二玄社 2011）

三代豊国(歌川国貞)が人物画を、初代広重が各宿場の風景を手がけた「双筆五十三次」全 55 図をカラーで収録しています。見出しが謎掛けスタイルになっており、解説を交えて分かりやすく紹介されています。「保永堂版東海道五拾三次」も多数掲載。

◇『今とむかし広重名所江戸百景帖』（暮しの手帖社 1993）

市川を題材にした「真間の紅葉手古那の社継はし」は p.42-43、「鴻の台とね川風景」は p.76-77 にそれぞれ掲載されています。

◇『名所江戸百景』一立斎広重／画 宮尾しげを／文（集英社 1992）

図版 94「真間の紅葉手古那の社継はし」、図版 95「鴻の台とね川風景」を確認することが出来ます。p.177 には 2 図の解説が載っています。

「名所江戸百景」は国立国会図書館の「デジタルコレクション」でもご覧いただけます。ご利用の際は中央図書館のレファレンスカウンターにお越しく下さい。

.....

◇メールマガジンの登録・解除はこちら

<https://opac.city.ichikawa.chiba.jp/winj/opac/top.do>

◇このメールは自動配信されています。このアドレスに返信いただいても内容の確認およびご返答ができません。ご了承ください。

市川市中央図書館

〒272-0015 千葉県市川市鬼高 1-1-4 047-320-3346
